

かすが 議会だより

議会だよりは市民とともに

2022年
5月15日

No.208

かすかの
写真募集中

令和4年
3月定例会



もくじ

- 2 令和4年度予算を議会がチェック!
- 5 全ての議案の議決結果
- 6 3月定例会での議案審査
- 9 12人の議員が一般質問
- 13 非難決議を可決
- 14 所管事務調査の中間報告

「久しぶりの兄弟再会」

よしはら りょうこ
撮影者 吉原 良子さん
撮影場所 春日神社
撮影者の紹介はP16へ

ギカイを



見に行こう!

1月に臨時会がありました



令和4年度一般会計補正予算(第1号)は、市内での個人消費を喚起し、地域経済の回復・活性化を図ることを目的とし、プレミアム付き商品券助成事業費(6,000万円)を増額するものです。

令和4年度の注目事業を紹介します！

新規 地区公民館等
防犯カメラ設置事業
866万円

公民館施設(市内35地区)の施設管理および地域住民の安全確保のため、公民館入口に防犯カメラを設置する。

継続 障害児通所給付事業
9億8,817万円

障がいのある児童や発達の遅れがある児童が、必要な療育や生活能力向上のための訓練を受ける費用について給付を行う。

新規 就労準備支援事業
502万円

従来の生活困窮者支援事業に加え、就労に従事する準備としての基礎能力の形成を目指した支援事業と、相談などにより把握した対象世帯を訪問し、適切な支援につなげるアウトリーチ事業を実施する。

新規 医療的ケア児保育
支援事業
513万円

たんの吸引や呼吸管理、経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童を受け入れるために、医療的ケアのできる看護師を市直営保育所に配置する。

問 看護師の配置および受け入れ体制は。
答 まずは、直営の昇町保育所に看護師を配置し、全ての方を対象に相談を受け、状況に応じた対応を考える。

問 生活困窮者自立支援事業は社会福祉協議会に委託するのか。
答 就労準備支援事業については、県が実施している事業を受託している事業者がいるため、その枠組みを利用して同じ事業者への委託を検討している。家計改善支援事業についても、社会福祉協議会とは別の事業者への委託を検討しているが、それ以外の事業については、社会福祉協議会の「よりそい」への委託を予定している。

新規 新生児
聴覚検査事業
452万円



早期に難聴児を発見し、早期支援が開始できるよう新生児聴覚検査に係る費用を助成する。

吉居 恭子 議員 **反対**
長らくコロナ禍で、収入が激減し厳しい生活状況の市民への市独自予算を組むべき。公共施設の指定管理者の収支計画予算は不透明で市民に説明できず、市民のためのより良い予算編成とは言い難い。

原 克巳 議員 **賛成**
本予算は、子育て支援策の拡充のほか、将来を見据えた計画的な投資的経費を計上するなど、住みよさを重視した上で、市民生活の安定や質の向上に配慮した予算編成であると認めることができる。

船久保 信昭 議員 **賛成**
限られた財源の中で住みよさを重視した施策を盛り込む一方、公共施設の老朽化や扶助費の増加などへ適切に対応し、世代間負担の公平性と財政規律の確保に配慮された本議案に賛成する。

【付託議案】
・令和4年度一般会計予算
・令和4年度一般会計補正予算(第1号)



令和4年度の一般会計予算は
355億1,013万7千円
(前年度比3.2%増)
※令和4年度一般会計補正予算(第1号)で6,000万円が増額されています。



継続 市制50周年
記念事業を実施 **2,139万円**

春を祝う。50TH
KASUGA CITY 50TH ANNIVERSARY
令和4年4月1日 春日市制50周年

令和4年4月1日に市制50周年の節目を迎えるに当たり、記念式典をはじめとする各記念事業を実施する。オープニングセレモニー、記念式典のほか、市民実行委員会が企画する事業などを実施予定している。

新規 小学校屋外運動場
照明施設整備事業 **1,599万円**

青少年育成団体の安全な活動時間の確保のため、屋外照明灯が未設置の小学校に簡易照明を設置する。
【本年度設置予定校】
春日小、須玖小、大谷小



令和4年度
予算を議会が
チェック！

3月定例会では、議員全員による予算審査特別委員会(北田織委員長)を設置し、付託された2件の予算案件について5日間にわたり審査を行いました。

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の税率を増額改定

国民健康保険の適正かつ安定的な運営を確保するため、現行の保険税率を福岡県が示す標準保険税率に準拠した税率に改定する。



【ポイント】

- ①未就学児について均等割額(低所得世帯の軽減該当世帯の場合は、軽減後の均等割額)の2分の1を減額する措置を新設。
- ②県が示した標準保険税率との乖離が大きいため、一度に引き上げるのではなく、令和2年度に引き続いた改定となるが、今回は引き上げ幅を極力抑えて改定。

問 所得割率の税率を下げ、均等割額や平等割額の税額を上げれば低所得者への負担がより大きくなる。今回の改定税率の設定や低所得者に対する軽減をどのように考えているのか。

答 国が国民健康保険の制度設計をした際、相互扶助の考えの下、応益割を導入した経緯もあり、国のガイドラインに基づいて算定された税率としていくことが、一番納得感があると考えている。また、低所得者に対する軽減については、法律で定める減額措置で負担軽減を図っている。

本会議での討論

吉居 恭子 議員 **反対**

国民健康保険の保険料を増額するもので、1人当たりの納付金は、対前年度比104%、4,977円の引き上げとなる。コロナ禍で疲弊した市民生活を守る立場から、国民健康保険料は引き下げを行うべき。

米丸 貴浩 議員 **賛成**

今回の改定は、均等割額と平等割額の引き上げ幅を圧縮し低所得者世帯に配慮した内容。子育て世帯への配慮もあり税率抑制に向けたさまざまな取り組みを行った上での安定的な制度運営上必要な措置だと考える。



保育所設置条例の一部改正

春日市立岡本保育所を公私連携型保育所として整備



問 公私連携型保育所への移行に併せて建て替えも計画しているが、建て替えに伴い定員はどのくらい増やすのか。

答 具体的な数字までは決定していないが、待機児童を解消させることも目的の一つとして、現在の定員100名よりは増やしていきたいと考えている。

人権擁護委員を推薦



人権擁護委員

任期は令和4年7月1日から3年間
齊藤留美子 氏(2期目)
白水 和幸 氏(2期目)

【人権擁護委員】とは

家庭内や隣近所のトラブル、いじめや差別など、さまざまな人権問題や悩みごとの相談に応じる。全国には14,000人、本市では9人が法務大臣から委嘱され活動している。

令和3年度一般会計補正予算(第15号)

- 補正額 8億4,471万4千円増
- 歳入歳出総額 424億3,456万4千円



国からの全額補助により保育士などの処遇改善が図られる

問 保育士等処遇改善臨時特例交付金の使途目的は。

答 保育士、幼稚園教諭、放課後児童支援員に対して収入の3%程度の引き上げをするための交付金である。

小学校に設置される老朽化した木製混成遊具を更新

問 小学校の遊具改修の方針は。

答 遊具選定については、安全性を第一に、長く使用できること、地域の子どもも利用できること、遊びながら運動能力を向上できることなどを踏まえて選定している。

今回対象校 ▶ 春日小・春日原小・春日南小・大谷小・春日野小

実施済(令和2年度) ▶ 春日北小・春日東小・春日西小・須玖小・天神山小

※白水小、日の出小は現時点で予定なし。

職員の育児休業等に関する条例の一部改正

国家公務員に準じ会計年度任用職員の育児休業の取得要件が緩和、取得しやすい勤務環境を整備



特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

監査専門委員を設置する場合の報酬額を定めるとともに、選挙長などの報酬に係る支払区分などを整備



- ① 監査専門委員の報酬額 日額 22,000円
※必要であると判断した場合に、すみやかに設置できるよう整備
- ② 選挙長などの報酬 日額から1回当たりの額に変更

財産の取得

職員用ノート型パソコンを700台購入



- 取得の方法 ▶ 一般競争入札(入札後審査型条件付一般競争入札)
- 取得価格 ▶ 7,071万1,300円
- 契約相手方 ▶ 株式会社 オフィスステーション カジワラ



予算を議会がチェック!

特別会計・事業会計 議決結果

議案審査

議案審査 一般質問

一般質問

一般質問/臨時会 視点・論点/決議/意見書

所管事務調査の中間報告 議会評価



全ての議案はこちら⇒

公の施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

開発行為により市に帰属した施設を平田台第2児童遊園として適正な管理を図るもの



改正の内容

- 【児童遊園の追加】平田台第2児童遊園(平田台5丁目1番地10) 411㎡
- 【児童遊園の名称変更】平田台児童遊園(平田台2丁目30番地) → 平田台第1児童遊園



工事請負契約の締結

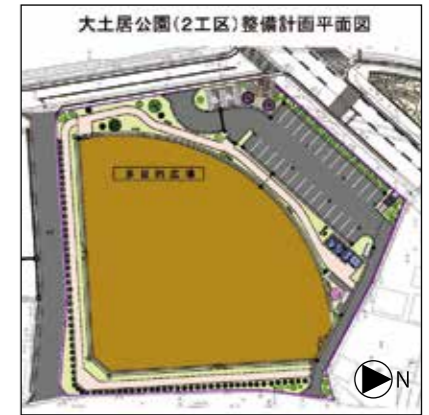
大土居公園(2工区)整備等工事



契約方法 一般競争入札 入札後審査型条件付一般競争入札(総合評価方式特別簡易型)

契約金額 2億2,330万円

契約相手方 和広・塩月特定建設工事共同企業体 (右図) 既存の大土居公園から道路を挟んで南東側 約5,639㎡ 地下に小倉第3雨水貯留施設あり (関連記事:『かすが議会だより』201号 p.5)



工事請負契約の締結

春日市ふれあい文化センター自動火災報知設備他改修工事



契約方法 一般競争入札 入札後審査型条件付一般競争入札(総合評価方式特別簡易型)

契約金額 1億4,770万1,400円

契約相手方 九昭電設工業・上内電気特定建設工事共同企業体

問 工事に伴う休館期間は。

答 令和4年9月の1か月間を予定している。

令和3年度下水道事業会計補正予算(第3号)

収益的収入	225万6千円減額	→	総額23億8,219万6千円
収益的支出	648万6千円増額	→	総額18億5,691万7千円
資本的収入	1,020万円減額	→	総額10億7,066万円
資本的支出	1,092万9千円減額	→	総額20億6,823万円



◆資本的収入が資本的支出に対し不足する額9億9,757万円は、以下で補填された。

- ・消費税及び地方消費税資本的収支調整額…………… 6,465万7千円
- ・減債積立金…………… 3億8,260万7千円
- ・損益勘定留保資金令和2年度分…………… 4億6,053万2千円
- ・損益勘定留保資金令和3年度分…………… 8,977万4千円

一般質問

12人の議員が市政に対する質問を行いました

いつでもどこでも

2次元コード(QRコード®)をスマートフォンなどで読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。



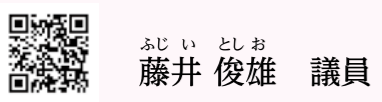
※今定例会では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、回数制・時間制ともに、議員の発言時間の上限を20分としました。

※議会だよりにおける一般質問の原稿は、質問者本人の執筆によるものです。

※会議録(冊子)およびパソコンでの閲覧は、市民図書館でもできます。

基本目標2

子供の虐待や貧困、その生活の実態について



問 令和2年の児童生徒の自殺者は415人におよぶ。子供の生きる力を養い、心の醸成や倫理感を育むため、学校・家庭・地域の連携が急務であると思うが、教育長の考えは。

答 春日市のコミュニティ・スクールは、人と人との関わりの中で子を育み、大人を育て、まちを育てる仕組みである。長年学校教育が果たしてきた役割を継承し、学校・家庭・地域の全ての関係者が役割を果たし、互いに連携することが、令和の日本型学校教育推進に向けた原動力になる。



第6次総合計画基本目標	質問項目	発言順	議員名	時間制	回数制	掲載ページ
基本目標2 安心して子育てができるまちと成長できるまち	子どもの貧困や虐待と生活の実態について	3	藤井俊雄	時間制		9
	地域コーディネーターの活躍と役割について	4	西村澄子	時間制		10
	幼保小連携とコロナ禍における保育について	8	原 克巳	回数制		10
	子育てと仕事の両立がしやすく育児負担を軽減する保育所入所の在り方について	11	西川文代	時間制		10
基本目標3 みんなで支え合い、誰もが健やかにいきいきと暮らせるまち	新型コロナウイルスのワクチン接種などについて	1	中原智昭	時間制		10
	高齢者の支援について	2	迫 賢二	回数制		11
	地域共生社会の推進について	6	岩切幹嘉	時間制		11
	困難な状況にある市民への対応と支援について	7	吉居恭子	時間制		11
	健康寿命の延伸にむけた取り組みについて	9	川崎英彦	時間制		11
	本市における障がい者の就労支援について	12	飯田浩昭	回数制		12
基本目標4 安全で快適に暮らせるまち	道路行政と交通安全対策について	5	高橋裕子	回数制		12
	環境および防災対策について	10	野口明美	回数制		12
基本目標5 持続可能なまちづくり	電子入札や電子契約について	5	高橋裕子	回数制		-

基本目標3

たて割りの福祉分野から
総合的な福祉支援へ



いわきり みきよし
岩切 幹嘉 議員



問 複雑な課題を抱えている世帯・個人の早期解決には高齢者、障がい者、子育てなど今までの既存の福祉分野を超えて、これからは総合的な重層的支援整備事業が必要であると考えますが、本市の取り組みと見解を問う。

答 まずは現存の体制を生かし、関係機関の役割などの確認を行い、包括的相談支援体制の充実に取り組んでいきたい。

問 今後の継続的な検証、改善についての考え方は。

答 価値観の多様化から、その視点は必要であると考えている。



今定例会の一般質問は12人です

基本目標3

高齢者の支援について



さこ けんじ
迫 賢二 議員



問 春日市社会福祉協議会は民間の福祉団体であるが、行政や地域の団体と協働し、様々な福祉活動を行う公共性、公益性の高い組織である。その拠点施設である社会福祉センターは老朽化している。今後、ICTを十分に活用できるような新しい事務所を有する社会福祉センターへの建て替えを積極的に支援する考えは。

答 建て替えを含め、何らかの形で、将来に向けて社会福祉協議会の事務所の機能を、しっかりと確保できるよう、支援していく。



春日市社会福祉協議会社会福祉センター

基本目標2

幼児期から小学校への
円滑な移行のために



はら かつみ
原 克巳 議員



問 小学校入学直後から学校生活に適應できない児童がいる。幼保小の連携・接続について、さらなる盤石な体制づくりが必要では。

答 健やかな成長や小学校へのスムーズなつながりを図る上で、幼保小の連携・接続は重要である。今後、小学校のスタートカリキュラムと昇町保育所が主導しているアプローチカリキュラムとを相互に関連づけながら内容を充実させ、接続期の教育がより充実し、児童の負担軽減と成長・発達に寄与するよう努める。



基本目標2

地域コーディネーターの
活躍と役割について



にしむら すみこ
西村 澄子 議員



問 地域コーディネーターの成果と課題は。

答 学校と地域とのつなぎ役として非常に高い評価を得ている。継続的な人材確保に努める事が課題と考えている。

問 役割に対し、活動内容と謝金があわないのではないか。

答 謝金の単価を見直し、来年度の予算に計上した。

問 地域コーディネーターの活躍場の構築が、春日市のコミュニティ・スクールの成果となり、財産へと繋がると考えるが見解は。

答 やりがいを持ち活躍できる場を作るとともにさらなる推進に努める。



全13項目の一覧は9ページへ

基本目標3

春日市の健康寿命を
公表し施策に活用を



かわさき ひでひこ
川崎 英彦 議員



問 市独自の健康寿命の定義と算出方法を定めて公表すれば施策の方向性、進捗状況の確認、いつまでに達成するのかといった具体的な行動計画を立てることが可能になる。健康寿命の可視化で、さらなる健康寿命の延伸につなげては。

答 平均自立期間を指標として活用することを考えている。今後は、医療費の実態と健康課題などの評価分析を行い、公表する際に、この平均自立期間の算出結果もウェブサイトなどで公表し取り組みを進めていく。



福岡県の健康寿命と平均寿命比較グラフ

基本目標3

市税など滞納時の
差し押さえについて



よし い きょうこ
吉居 恭子 議員



問 催告書記載の期限内に相談に行ったのに、その場で差し押さえになったとか、相談をして分納していたのに、突然、差し押さえにいられたなど聞かすが、どうしてそういう事があるのか。

答 納付相談を受けていたり分割納付している状況であっても、納付できる収入や財産に見合う納付額になっていない、または、財産調査の結果、納付する資力があることがわかった場合には、納期限内に納税している方との公平性を保つため差し押さえを行っている。



基本目標3

幼児・児童へのコロナワクチン
接種の考え方は



なかはら ともあき
中原 智昭 議員



問 5歳から11歳までのワクチン接種は12歳以上のワクチン接種との考え方に違いはあるのか。

答 5歳から11歳までのワクチン接種は、予防接種法の努力義務規定の適用外とされ、任意であるため、かかりつけ医の意見なども参考にし、本人と保護者で話し合っ接種するかどうかを決めていただきたい。また、接種の強制や接種を、しないという理由での「いじめ」は絶対にあってはならないことを、学校や保護者を含め、市として周知している。



基本目標2

保育所利用調整は負担軽減に
配慮し再検討を



にしかわ ふみよ
西川 文代 議員



問 保育所の入所については、子育てと仕事の両立、子育ての負担軽減の施策の方向性に沿い慎重に検討し決定すべきことだと思う。筑紫地区他4市、福岡市、北九州市も設けるきょうだい児加点について、具体的なパターンを想定、整理し、加点による極端な逆転現象が生じない配点を考える必要があると思うが、検討の結果、設けないとの結論か。

答 1点であってもきょうだいの有無で差をつけることになり、加点項目とする考えはない。



3月定例会の

視点・論点

今定例会は、まん延防止等重点措置期間中に開会した議会であったため、基本対策に加えて1時間ごとの換気を徹底するなど、一定の対応を行うことができた。しかし、会期中での宣言解除に対応ができない場面があり、課題を残した。現在策定中の議会BCPにおいて、会期中の宣言などの解除時の対応策についても詳細に検討していく。

2 コロナ禍における議会運営について

今定例会では感染拡大防止対策の一環として、一般質問における議員の質問時間を最大20分とし時間短縮に努めた。結果として、質問が簡潔となることで、視聴する市民の皆さまにとって分かりやすい一般質問となったと思われる。これからも、より市民に分かりやすい一般質問とするため、今回の取り扱いの効果も踏まえて、時間やその方法について今後検討していく。

1 一般質問の全般について

予算を議会がチエック！

特別会計・事業会計議決結果

議案審査

議案審査一般質問

一般質問

一般質問／臨時会視点・論点／議決・意見書

所管事務調査の中間報告議会評価

ロシアによるウクライナへの侵略を強く非難する決議



決議しました

ロシア軍は国際社会の懸命な努力にもかかわらず2月24日早朝(現地時間)、ウクライナへの軍事侵攻を開始した。以来、一般市民も巻き込んだ悲惨な状況が連日報道されている。ロシア軍による侵攻は、ウクライナの主権及び領土への侵害である。このことは国連加盟国の主権、独立、及び領土保全の尊重、さらには武力による威嚇と武力の行使を禁止している国連憲章や国際法の一般原則にも違反する暴挙である。これは、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かすものであり断じて容認できない。よって、本市議会は、ロシア及び協力国であるベラルーシに対し、ウクライナ侵略を強く非難するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止と直ちにウクライナ領土から全ての軍隊を完全に撤退させること、及び国際法を遵守し平和的に対応することを強く求めるものである。我が国に対しても在留邦人とともにウクライナ国民の安全確保、ウクライナの主権回復と平和の実現に向け、国際社会と緊密に連携し、制裁措置の徹底と強化を図るよう強く要望する。以上、決議する。

令和4年3月7日 春日市議会

◆地方自治法の規定に基づき、春日市の公益に関する意見書を国に提出します。

第1号意見書案

介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書



【提出者】原 克巳 議員

【要旨】介護職員の処遇改善においては、制度の簡素化や介護報酬の運用について事業所ごとの柔軟な対応を進めるなど、地域の介護サービスを持続可能なものとするために政府に対して特段の配慮を求める。

- ①臨時的報酬改定において新設される「新たな加算」については、現行の介護職員処遇改善加算および介護職員等特定処遇改善加算(特定加算)の統合を検討するなど、事務手続の簡素化に努めること。
- ②特定加算の配分方法について、事業所などが実情に応じて柔軟に判断し、弾力的な運用ができるようにすること。
- ③公的価格の見直しにおいては、現行の加算との整合性を踏まえた上で、利用者負担にも十分配慮しながら、介護報酬申請の手続を簡素化すること。

意見書の全文はこちら



基本目標 4

人優先の安全・安心な通行空間の整備を望む



たかはし ゆうこ 議員 高橋 裕子



問 車両の速度抑制や事故削減の効果があるゾーン30と物理的デバイスを組み合わせたゾーン30プラスは、人優先の安全・安心な通行空間の整備推進となる。今後導入の考えは。

答 ゾーン30の効果を向上させるため事故統計データや交通ビッグデータなど活用し、いつ、どの位置でどんな事故が発生しているかを把握分析した上で、車両の進入や速度を抑制する物理的デバイスの設置が必要な箇所を警察や地元と十分協議し実施に向け検討したい。



基本目標 3

就労継続支援B型の就労支援をどう考えるか



いいだ ひろあき 議員 飯田 浩昭

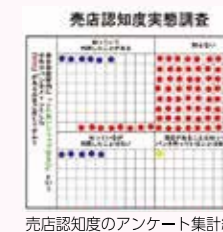


問 自立と社会参加の視点から、工賃向上・就労支援への見解は。

答 物品購入は市内施設から優先的に調達するよう各部署に周知し支援に努めている。生きがいややりがい、居場所を見つけていく事は大切。引き続き就労支援に努める。

問 障がい者への理解や啓発につながる機会の拡大は重要。市報などでの案内やさらなる庁舎内の案内方法を提案する。

答 さまざまなツールを活用しさらに広く周知に努める。議員の提案も踏まえ、より効果的な案内方法を研究する。



基本目標 4

カーボンニュートラルに向けた取り組みについて



のぐち あけみ 議員 野口 明美



問 市民や企業に対するゼロカーボンに向けた気運を高めて行けるよう、本市において「ゼロカーボンシティ宣言」の表明の考えは。

答 本市の実行計画の修正を行うことが必要になると思われるので、さまざまな施策の推進と併せながら検討してまいりたい。

問 カーボンニュートラルを実現するため国の交付金を活用して取り組みを進めてはどうか。

答 その交付要件として事業計画の提出と実行計画の修正が必要となる。取り組みに当たり国の財政支援などの活用も研究する。



令和4年1月20日 第1回 臨時会



- 令和3年度春日市一般会計補正予算(第14号)
- 補正額 138億797万7千円増
- 歳入歳出総額 498億6,286万5千円

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、さまざまな困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、「臨時特別給付金」を給付する。

- 【対象となる世帯】
- ①世帯全員の令和3年度住民税均等割が非課税の世帯
 - ②令和3年1月以降の収入が減少し「住民税非課税相当」の収入となった世帯(家計急変世帯)

【受給権者】
住民票の世帯主(その委任を受けた者)

【給付額】
1世帯あたり10万円

令和3年の議会評価をお知らせします



春日市議会基本条例



春日市議会評価実施要綱

春日市議会では、議会基本条例第5条に規定する市議会の評価を毎年3月に行っています(平成31年から)。

令和4年3月に行った、令和3年の評価を公開します。



【評価対象】1月～12月における議会基本条例に基づく議会の活動

【評価手順】1年間の議会の活動や市議会アンケート結果などを踏まえ、評価項目ごとに達成度、方向性、今後の取り組みを議会運営委員会で協議し、決定します。

【評価項目】①議会評価 ②情報公開および市民参加 ③議会報告会 ④議員の政策立案能力などの向上 ⑤事務局体制の充実

議会評価表

評価項目	進捗状況	評価		今後の取り組み
		達成度	方向性	
議会評価	議会評価の公表	○	継続	議会評価については議会だよりやウェブサイトにより公開しており、公表は一定の水準に達している。今後、引き続き外部評価についても検討していく。
情報公開および市民参加	会議の公開	○	拡充	コロナ禍により市民に傍聴の自粛を要する一方で、ユーチューブでの本会議ライブ配信を実現した。今後はインターネットを活用した委員会の動画配信などさまざまな方向性を検討していく。
	議員の賛否の公開	○	継続	本会議における賛否は、議会だよりやウェブサイトで公開している。本会議や委員会での賛否がもっと市民に伝わるよう、他の媒体の活用などを含め、手法について引き続き研究を行う。
	会議録・委員会記録の公開	○	拡充	会議録・委員会記録の公開はウェブサイトにより確実にしている。委員会記録公開の今以上の早期公開は難しいが、他の手法(動画や音声)による早期公開や公開場所について研究を行う。
	公聴会および参考人制度の活用	○	継続	公聴会の開催は行われていないが、必要時にいつでも開催できるよう、要綱の整備をする必要がある。
議会報告会	報告会の充実	○	拡充	新型コロナ禍において、インターネットを活用したオンライン報告会を実施し一定の成果が得られた。今後、対面やインターネットを活用し、開催回数増や若年層のさらなる参加などの研究を進める。
	報告内容の充実	○	継続	各常任委員会で取り組む所管事務調査について各委員長から報告を行った。これに対して市民の考えを伺うことが出来たことは調査を進める上で有益であったので、今後も継続して行う。
	意見交換の充実	○	拡充	オンライン開催のため、参加者が限られる結果となった。意見交換の時間の確保と、幅広い年代により多くの参加を呼び掛けるよう研究を行う必要がある。また、ファシリテーターのスキルの向上を図る。
議員の政策立案能力などの向上	政務活動費の有効活用	△	拡充	コロナ禍において視察などの実施ができず議員活動に制約があったが、政務活動費は基準に基づき適切に支出がなされている。社会に対応した議会活動が行なえるよう、引き続き適宜使途基準の見直しを行う。
	議員研修の実施	○	継続	外部講師による議員研修会を、オンラインを含め3回実施した。コロナ禍であっても研修を実施したことは意義があった。政務活動費の活用などを含め研修費の確保に努め、政策提言に係る研修会を今後も引き続き実施していく。
事務局体制の充実	議場・委員会室などの整備充実	△	改善	令和3年6月から全議員にタブレットが貸与され、議会のICT化が進んだ。昨年からは一般質問におけるフリップの使用が進んだが、視認性に課題があり改善が求められる。また、通信環境にさらなる整備を要する。
	事務局の機能強化	○	継続	議会のICT化が事務局の業務の簡素化に寄与した。議会の機能強化に事務局体制の充実は不可欠であり、今後も職員定数の確保に努める。

※評価の達成度は3段階(○△×)
 ○:概ね一定の水準にある △:一部水準に達していない ×:目的が達成できていないため取り組みが必要
 ※評価の方向性は3段階(継続・拡充・改善)
 継続:手法・内容などの更なる充実を図り、引き続き取り組む
 拡充:手法・内容などの見直し・拡充などを行い、取り組む
 改善:手法・内容などを大幅に見直し、目標を目指し取り組む

所管事務調査の中間報告を行いました

令和5年3月定例会での提言を目指し、各常任委員会は定めたテーマについて、所管事務調査を行っています。

令和4年3月定例会において、春日市議会会議規則第45条第2項の規定に基づき、各常任委員長からの中間報告が行われました。

総務文教委員会 「教育環境のさらなる充実について」

一人一台端末環境のもと個別最適な学びと協働的な学びを実現するため新しい時代の学校施設の在り方を調査

令和の日本型学校教育に向けた方向性と施設

- (1) 新学習指導要領の着実な実施(主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善など)
- (2) 個別最適な学びと協働的な学びの実現
- (3) 少人数による指導体制の整備
- (4) ICTの活用や教師による対面指導とオンライン教育とのハイブリット化による指導
- (5) 少人数による指導体制への対応を含む施設環境の整備やICT環境の整備や作業空間の現状
- (6) 新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備



市民厚生委員会 「障がい者福祉の現状と支援」

障がいの有る無しに関わらず、地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現に向けて、「心のバリアフリー推進」と「障がい者の防災対策」をサブテーマとして調査研究を行っています。これまでの活動としては、障がい者の団体である「手をつなぐ育成会かすが」、「春日市身体障害者福祉協会」、「五筑会」との意見交換会や、管内視察として「社会福祉法人はるかぜ福祉会」への訪問を実施しました。今後、これまでの活動の中から見えてきた課題を整理して、その解決に向け先進地の行政視察や市民との意見交換を基に政策提言に努めます。



地域建設委員会 「人と地域がつながり、良好な住環境の中で安心して暮らせるまちづくりについて」

テーマに沿って設定した3項目・自治会活動支援事業・コミュニティバス事業・西鉄春日原駅周辺整備事業を同時並行で会期中、閉会中の委員会において議論を進めています。委員による討議を重ね、それぞれの事業に対し課題を抽出し、課題解決に向けた方策を検討しているところです。今後も各事業ごとに関係する団体との意見交換と先進地への行政視察を実施し、テーマの実現に向け市民の皆さまからご負担いただいた当委員会の使命と役割を果たし、市民生活に資する具体的な政策提言をまとめられるよう、調査研究に努めて参ります。



*私たちは、性差別、障がい者に対する差別、学歴や職業・貧富による差別など、気付かずに差別的な言動をすることがあります。真の人權教育の大切さと誤った行動規範や社会常識を見直すことの大切さを学びました。

① 差別とは、強い立場や多数派の人・集団が、(相手に責任の無い事柄に基づき)弱い立場や少数派の人・集団に対し、一方的に低い評価を下したり不利な取り扱いをしたりすること。
 ② 差別は、人間関係や社会関係(集団と集団)の中で発生し、本質的には差別する側の問題。
 ③ ある集団に対する差別が、その社会の中で継続している場合、その差別は慣習化され社会常識の一つとなっており、場合が多く、多数派集団に属する者は、成長過程の中で自然かつ無意識のうちに差別を身につける傾向がある。

3月17日、福岡県人権同和問題講師団講師の加藤陽一先生による、人権研修会を開催しました。テーマは、「部落差別解消と人権のまちづくり」。

加藤陽一先生による「オンライン人権研修会」を開催



加藤陽一先生



よしはら りゅうま りょうこ
吉原 琉真さん 良子さん(撮影者)
(昇町地区在住)

春日市のここが好き

安心して子供を遊ばせることが出来る広い公園がたくさんあり、買い物や外食できるお店も揃っていてとても住みやすいです。

また、小中学校ではコミュニティ・スクール制度によって地域の中で子供たちが育てられているので子育てするにはとてもいい環境だと思います。

春日市議会に期待すること

市民もっとと触れ合う機会を増やしてほしいです。特に学生や若い世代がもっと興味を持ってくれるように市議会に意見が伝えられる場があるといいなと思います。

我が子に伝えたい事

今年20歳になる長男は幼い頃からの夢を叶えるために県外で頑張っています。

中学2年生の次男は部活動で大好きなバレーボールを頑張っています。

新型コロナウイルスの影響で行事がなくなったり部活動が出来なくなったりと、当たり前が当たり前でなくなり、感謝の気持ちを持つことの大切さを改めて感じています。

これからの人生、嬉しいこと・辛いこと・苦しいこと色んなことが起こると思いますが、どんな時でも感謝の気持ちを忘れずに過ごしてほしいと思います。

会期日程 令和4年 6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (提案説明)		本会議 議会運営委	常任委員会 (審査)	常任委員会 (審査) 広報広聴委	
12	13	14	15	16	17	18
	常任委員会 (審査)		本会議 (一般質問)		常任委員会 (採決) 広報広聴委	
19	20	21	22	23	24	25
	議会運営委 常任委員会	常任委員会	本会議 (採決)			

※日程は都合により変更になることがあります。

- 広報広聴委員会
- 委員長 米丸 貴浩
 - 委員 吉居 恭子
 - 委員 原 克巳
 - 委員 西村 澄子
 - 委員 西川 文代
 - 委員 白水 祥太郎

編集後記
通学路での見守り活動中の出来事です。
児童から「毎日ありがとう。でもね、たまには休んだ方がいいと僕は思うよ」と言われ嬉しいと同時に、ますます休めなくなりました。
さて委員会はコロナ禍であっても、さまざまに企画し実行してきました。
議会だよりに、難しい議会の仕組みを説明する「議会のトリセツ」の掲載、対話を通じて市民の意見や考えを伺う広聴会「きかせて、皆さんの声」の開設。
また、話しやすい環境方式を導入したこれまでと違う議会報告会やコロナ禍での初オンライン議会報告会の開催と。
多くの期待を受けた広報広聴委員会。これからも休む訳にはいきません。(責)

オンライン (Zoom) で 議会報告会を開催します!

日時
5月21日(土)
午前10時~11時30分

内容
委員会報告
(所管事務調査中間報告)
意見交換会(グループごと)

参加申し込み方法など詳細はこちらでご確認ください。



あなたの写真が表紙に!

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集しています。ご応募お待ちしております。



次号209号
令和4年8月15日発行
6月20日
メ切

表紙応募方法の詳細はコチラ

